

～小豆島を21世紀の日本と世界の「希望の島」に～

Be a 21st century "island of hope" - Bridge Japan and the world

平成28年度一般会計当初予算 **104億6,900万円**

I. 健康づくり

- ◆小豆島中央病院を核とした医療と福祉の充実 383,816千円
- ◆内海病院施設、老健うちのみ跡地利用 1,300,364千円
- ◆国民健康保険適正化事業 13,123千円
- ◆介護人材の確保対策事業 等 1,271千円

II. 子育て・人づくり

- ◆認定こども園の整備 561,810千円
- ◆民間保育所の認定こども園化整備補助 35,438千円
- ◆保育料減免事業 12,968千円
- ◆高校・大学等奨学資金貸付事業 等 115,320千円

III. 産業づくり

- ◆地場産業の物流支援 50,000千円
- ◆プレミアム商品券による地域内消費の拡大 131,766千円
- ◆商工業振興計画の策定 2,571千円
- ◆首都圏での販路開拓のための出店補助 等 2,731千円

IV. 一次産業の再生と復権

- ◆漁港の高潮対策事業 117,822千円
- ◆ため池、畑地かんがい施設等の基盤整備 8,920千円
- ◆耕作放棄地の再生、活用事業 1,950千円
- ◆有害鳥獣捕獲対策等の強化 等 47,924千円

V. 文化・アート総合戦略

- ◆瀬戸内国際芸術祭2016による魅力発信 108,511千円
- ◆石の文化の世界遺産化事業 14,000千円
- ◆壺井栄50回忌記念事業 4,000千円
- ◆貴重な農村文化の保存事業 等 11,027千円

小豆島町が誕生して10年になります。この10年、課題は山積していましたが、ひとつひとつの課題に向き合い、一歩一歩ではありますが着実に前進し、また、島がひとつになって取り組むべき課題についても、少しではありますが展望が開けようとしているように思います。

今年度当初予算は、前年度に比べ、12億6千3百万円(13.7%)増の104億6千9百万円となっています。

今月号では、小豆島を21世紀の日本と世界の「希望の島」に目指す施策として8つの柱を中心に予算を紹介します。先月号の平成28年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけると思います。



VI. 交通の復権

- ◆ 高齢者免許自主返納支援事業 4,122千円
- ◆ 町営バス三都線運行事業 7,976千円
- ◆ オリーブバスの経営改革 等 14,712千円

VII. 自然・環境

- ◆ 一般住宅リフォーム助成事業 10,000千円
- ◆ 空き家の適正管理、活用事業 24,294千円
- ◆ 電気自動車の普及促進事業 等 1,028千円

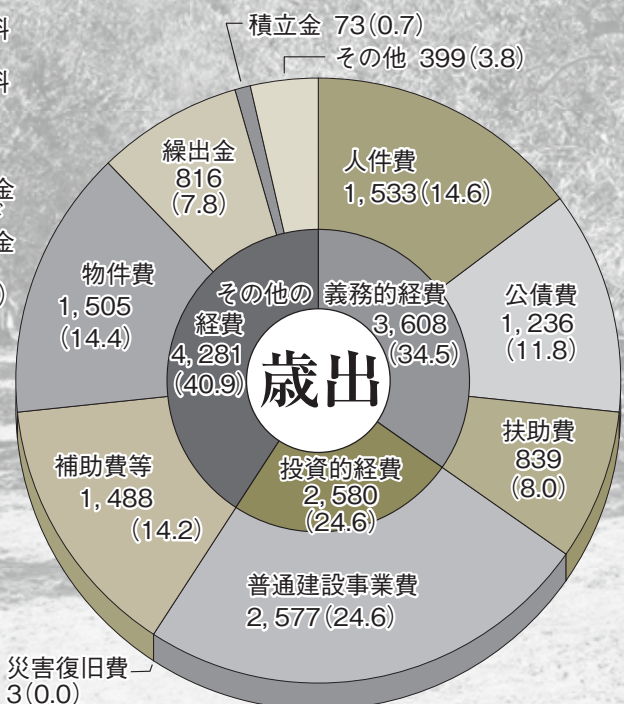
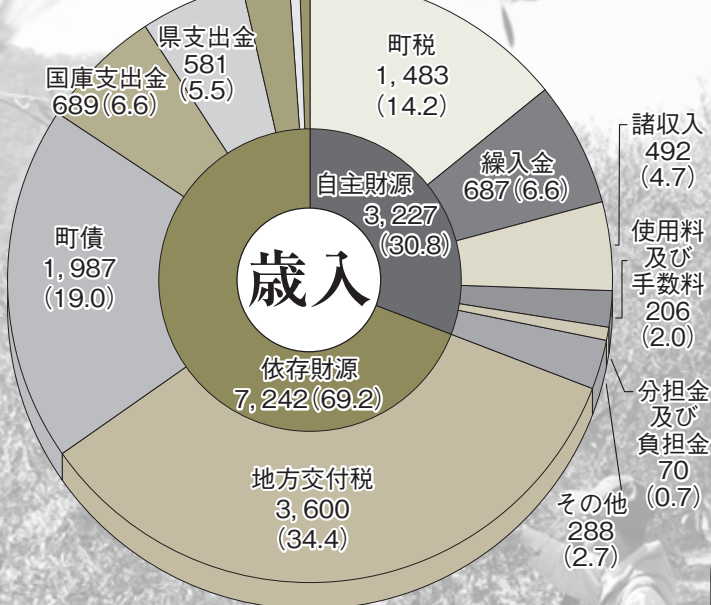
VIII. 国際交流・移住者

- ◆ 国際交流アドバイザーによる英語研修 等 1,200千円
- ◆ 観光案内板・パンフレットの多言語化 3,202千円
- ◆ 移住者向け民間賃貸住宅家賃助成 15,000千円
- ◆ 地域おこし協力隊によるまちづくり 等 17,877千円



○一般会計 歳入歳出予算グラフ

地方消費税交付金 269(2.6) 地方譲与税 65(0.6) その他の交付金 52(0.5)



(単位は百万円、百万円未満は四捨五入) ※端数処理の関係上、数値が合わない場合があります

私たち一人あたりに使われる金額 **709万4,741円** 町が賄える金額 **218万6,907円**
 ※H28. 4. 1 住民基本台帳人口14,756人および自主財源により算出しています。

問い合わせ 企画財政課 ☎75-1800